

目 次

追悼の言葉	i
論 説	
ステークホルダー・キャピタリズム時代の会社のパーパス 奥乃真弓	1
株主アクティヴィズムとシヴィル・ロー 小梁吉章	23
親との関係を妨げられたことを理由とする成年に達した子からの 損害賠償請求——『民事責任法と家族』の一つの補遺—— 白石友行	41
国外で設定された動産上の約定担保物権の効力に対して国内法の 改正が及ぼす影響 直井義典	89
信託と信認法理の公的意義 ——国民の基本権の保障と法曹三者の信認義務 田村陽子	113
EU 国際私法と労働契約の概念 藤澤尚江	147

租税条約において定義されていない用語の解釈についての考察 ——日ルクセンブルク租税条約みなし配当事件を素材として——	本田光宏	177
インサイダー取引規制の検討 ——内部者が内部情報を「職務に関し知った」とされる場合——	萬澤陽子	199
弁護士の中立公正義務の理論的分析（1）	森田憲右	225
企業に対する人権デューデリジェンスの要求	弥永真生	251
判例評釈		
在外国民審査権訴訟大法廷判決（最大判令和4年5月25日） ——これまでの最高裁判例の延長線上における位置づけ——	大石和彦	271
大塚章男先生略歴・主要著作目録		289